令和６(2024)年度
日本体育大学大学院　体育学研究科
体育学専攻　博士後期課程
学生募集要項

本研究科では令和５（2023 年）年度に実施する入学試験からインターネット出願（以下、Web 出願という。）を開始します。出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や試験実施内容等に変更が生じる場合があります。

試験実施に関する変更等については、本学のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

目　次

Ⅰ．体育学専攻　博士後期課程３つのポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅱ．受験要領
１．専攻・学位プログラム募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
２．出願資格・・5
３．学位プログラム及びコース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
４．入学試験日程等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
５．選抜区分及び出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　　出願資格認定審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
６．出願書類・・・9
　　在留外国人の方・外国の学校出身の方へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
７．出願手続・・・12
８．障がいのある入学志願者の事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
９．受験票について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
10．選抜要領・・・13
11．受験上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
12．合格発表・・・14
13．入学手続・・・14
14．学　　費・・・15

Ⅲ．2024 年度　研究指導科目担当者及び研究指導領域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(巻末 1~9)
【博士後期課程】研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)　・・・・・・・・・・・・・(巻末 10～11)

Web 出願の流れ・出願写真に関する注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(別添１)

《各種様式・所定用紙等》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(別添 2)
博士後期課程提出用紙
「履歴書(所定用紙１)」、「研究業績一覧（様式１）」、「志望理由及び研究計画書〈表紙〉（所定用紙２）」、「承諾書（所定用紙３）」、「在職証明書（所定用紙４）」、「外国人入学願書（所定用紙５）」、「研究指導教員推薦書（様式２）」、「入学試験に係る事前相談について（所定用紙６）」
出願資格認定審査提出用紙
「出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査（博士後期課程）所定用紙１）」、「研究業績調書（出願資格認定審査（博士後期課程）様式１）」、「競技実績概要書（出願資格認定審査（博士後期課程）様式２）」

Ⅰ．体育学専攻　博士後期課程３つのポリシー

１．入学者受入れ方針　（アドミッション・ポリシー）

(1)　体育科学学位プログラム

体育スポーツ科学の研究と実践を通して、体育スポーツ科学およびその指導方法等に関する新しい知見を発信する意欲と能力をもつ者で、外国語運用能力を有している者。

(2)　コーチング科学学位プログラム

コーチング学の研究と実践を通して、コーチング学研究を推進していく意志と資質（研究能力、企画力など）を持ち、国内外において体育スポーツ指導、コーチング方法等に関する新しい知見を発信する意欲と能力をもつ者で、外国語運用能力を有している者。

２．修了認定・学位に関する方針　（ディプロマ・ポリシー）

(1)　体育科学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、博士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに博士（体育科学）の学位を授与する。

体育スポーツ科学に関する幅広く、かつ高度な学識
体育スポーツ科学に関する高度な専門的知識
体育スポーツ科学の研究者として自立して活動できる高度な研究能力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度な指導力やマネジメント能力を有する体育スポーツ指導者
体育スポーツ科学の研究者、大学教員
体育スポーツ指導者の育成者、大学教員

(2)　コーチング科学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、博士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに博士（コーチング科学）の学位を授与する。

体育スポーツ科学に関する幅広く、かつ高度な学識
コーチング学に関する高度な専門的知識
体育スポーツ科学あるいはコーチング学の研究者として自立して活動できる高度な研究能力
コーチ育成者としての高度な能力および研究能力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度なコーチング能力やマネジメント能力を有する上級コーチ
競技スポーツに関する研究者
コーチ育成者（Coach developer）
コーチング学に関する研究者

３．教育課程の編成・実施の方針　（カリキュラム・ポリシー）

(1)　体育科学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し、実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、2 単位）：自己の研究テーマをより集中的に実施し、発展させることを目的とし、より高度な研究報告演習（英語によるものを推奨）を行う。

② 専修科目（選択必修、4 単位）：各コースの研究法を学ぶとともに、各コースの高度な専門的知識を身につける。

③ 研究指導科目（必修、6 単位）：研究成果の国内外学術誌への投稿および掲載並びに博士論文の作成に向けた特別研究指導を受ける。

(2)　コーチング科学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し、実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、２単位）：自己の研究テーマをより集中的に実施し、発展させることを目的とし、より高度な研究報告演習（英語によるものを推奨）を行う。

② 専修科目（選択必修、４単位）：コーチング学研究法を学ぶとともに、コーチ育成に関する研究の推進およびコーチ育成者としての能力を身につける。

③ 研究指導科目（必修、６単位）：研究成果の国内外学術誌への投稿および掲載並びに博士論文の作成に向けた特別研究指導を受ける。

４．学位プログラム別課程修了の要件・取得学位

(1)　体育科学学位プログラム、コーチング科学学位プログラム

3 年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を 12 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

学位プログラム	取得学位
体育科学学位プログラム	博士（体育科学）
コーチング科学学位プログラム	博士（コーチング科学）

Ⅱ．受験要領

１．専攻・学位プログラム募集人員

専攻	学位プログラム	募集人員	専攻定員
体育学専攻	体育科学学位プログラム	６名 （Ⅰ期、Ⅱ期募集合せて）	９名
	コーチング科学学位プログラム	３名 （Ⅰ期、Ⅱ期募集合せて）	

２．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

（１）修士の学位を有する者又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（２）専門職学位を有する者又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（３）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（５）我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（６）学校教育法施行規則第 156 条第 4 号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 6(2024)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（７）学校教育法施行規則第 156 条第 5 号の規定による外国の学校等において、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（８）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（９）本学大学院において行う個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 24 歳に達する者

①大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究又は指導に従事した期間が 2 年以上ある者又は 6 年制課程の医学部・歯学部・獣医学部・薬学部を卒業した者。

②著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）あるいは高度の運動競技歴を有する者。

※重要

出願資格(8)（9）の該当者は、事前に出願資格審査が必要です。８頁で確認し手続きをしてください。出願資格審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

３．学位プログラム及びコース

学位プログラム	コース	学位プログラム・コース記号
（体科） 体育科学学位プログラム	体育スポーツ文化社会学コース	（体科・スポ文社）
	トレーニング科学コース	（体科・トレ科学）
	健康スポーツ医科学コース	（体科・健康医科）
	身体教育・健康教育コース	（体科・身体健康）
（コ科学） コーチング科学学位プログラム		（コ科学）

４．入学試験日程等

選抜区分	Ⅰ期試験	Ⅱ期試験
	一般選抜 社会人選抜 外国人選抜	一般選抜 社会人選抜 外国人選抜 内部進学選抜
出　願　期　間 （Web 出願登録、 出願書類受付期間）	2023 年 10 月 17 日(火) ～ 2023 年 10 月 24 日(火)	2024 年 1 月 12 日(金) ～ 2024 年 1 月 19 日(金)
試　　験　　日	2023 年 11 月 18 日(土)	2024 年 2 月 17 日(土)
合 格 発 表 日	2023 年 11 月 24 日(金)	2024 年 2 月 22 日(木)
入学手続締切日	2023 年 12 月 8 日(金)	2024 年 3 月 8 日(金)

５．選抜区分及び出願要件

選抜区分	対象学位プログラム・コース	出願要件
一般選抜	（全学位プログラム）	「２.出願資格」に該当する者
社会人選抜	（全学位プログラム）	「２.出願資格」に該当し、有職者として１年以上の経験年数を有する者 ※注意：本研究科の授業は通常の時間割編成であり、社会人専用の時間割編成はしていません。
外国人選抜	（全学位プログラム）	わが国における「留学」の在留資格を有する者又は本研究科入学までに資格を取得する予定の者で「２.出願資格(3)、(4)、(5)」のいずれかに該当し、日本国籍を有しない者
内部進学選抜 （Ⅱ期試験のみ）	（全学位プログラム）	令和５（2023）年度本大学院博士前期課程修了見込みの者で、同コース（旧・学系所属の学生は表 1.内部進学選抜出願先参照）の学位プログラムへ出願する者

※出願資格(8)、(9)の該当者は、事前に出願資格審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に一般選抜で出願することができます。

表 1.内部進学選抜出願先（旧・学系所属の場合）

【体育科学専攻】 本大学院博士前期課程時の学系	⇒	【体育科学学位プログラム】 本大学院博士後期課程出願コース
スポーツ文化・社会科学系	⇒	体育スポーツ文化社会学コース
トレーニング科学系	⇒	トレーニング科学コース
健康科学・スポーツ医科学系	⇒	健康スポーツ医科学コース
スポーツ教育・健康教育学系	⇒	身体教育・健康教育コース
本学大学院博士前期課程時の専攻		本学大学院博士後期課程出願学位プログラム
コーチング学専攻	⇒	コーチング科学学位プログラム

≪出願資格認定審査について≫

本大学院研究科では、「学校教育施行規則第 155 条第 1 項第 8 号の規定」により、「出願資格（8)、(9)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

1）審査基準

①「2．出願資格（8)」で出願資格認定審査の対象となる場合

大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

②「2．出願資格（9)」で出願資格認定審査の対象となる場合

「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは①及び②の基準を満たす者

(1)研究歴等について　《次のいずれかに該当する者》

a.大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究または指導に従事した期間が 2 年以上ある者

b.6 年制課程の医学部・歯学部・獣医学部・薬学部を卒業した者

(2)研究業績等について　《次のいずれかに該当する者》

a.著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）を有する者

b.高度の運動競技歴を有する者

2)出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には、下記書類の提出が必要になります。提出期限等を確認の上、お早目にご準備ください。

事前相談を済ませていない場合は申請できません。また、上記条件を満たした方すべてに受験資格が認められるとは限りませんのでご注意ください。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますのでご注意願います。

・提出書類

① 出願資格認定申請書（出願資格認定審査　所定用紙 1）
② 卒業(見込)証明書（最終学歴のもの）
③ 最終学歴における「学業成績証明書」
④ 研究業績調書（出願資格認定審査(博士後期課程)　様式１）
⑤ 競技実績概要書（出願資格認定審査(博士後期課程)　様式２）該当者のみ
⑥ 研究歴、研究業績、高度の運動競技歴を証明できる資料

・提出方法

封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「**速達・特定記録**」扱いで必要な書類を郵送してください。（「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）

・提出先　〒158-8508　東京都世田谷区深沢 7 - 1 - 1　日本体育大学 大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）

Ⅰ期試験：2023 年 10 月 3 日（火）必着
Ⅱ期試験：2023 年 12 月 13 日（水）必着

・審査結果　審査結果はⅠ期：2023 年 10 月中旬、Ⅱ期：2023 年 12 月中旬に電話連絡にて結果をお知らせします。

６．出願書類

●：全員提出、△：該当者のみ提出

（注意：提出書類について） ① Web 出願以外の所定用紙は、別添《各種様式・所定用紙等》から、A4 サイズで片面印刷してください。PC で入力したものも可。 ② 自身で作成する所定用紙以外の書類は全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。		提出該当者			
出願書類	連絡事項・注意事項	一般選抜	社会人選抜	外国人選抜	内部進学選抜※
(1)志願票・写真票	Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。	●	●	●	●
(2)履歴書（所定用紙１）	研究歴がある場合は、「学歴」または「職歴」欄に記入してください。 記入欄が不足した場合は、同一様式の別紙に記入し、添付してください。	●	●	●	●
(3)研究業績一覧（様式１）	・ 様式については、同様のものをパソコン等で作成したものでも可とする。 ・ 著書、学術論文、翻訳、学会発表等を「著書」・「学術論文」・「その他」に区分し、それぞれの業績を年代順に記載してください。また、「学位論文」（修士論文または博士論文）は最後に記載してください。※「学位論文」は、提出が可能な場合に限る。 ・ 概要欄は、論文、著書等ごとに 200 字程度で記入してください。共著の場合は担当部分及びページ数を明記し、全員の氏名を記載し、本人氏名に下線を引いてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときはその理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能） ・ 学会誌、雑誌等はその名称の他、巻・号まで記入してください。 ・ 投稿予定のものは含めないでください。 ・ 記入欄が不足した場合は同一様式の別紙に記入し添付してください。 ・ 本研究科における研究計画の内容と特にかかわりのある「著書」、「学術論文」、「翻訳」、「学会発表の要旨」等がある場合は、それらを証明できる資料（コピー可）を添付してください。掲載予定のものについては、掲載証明書を添付してください。 ・ 提出可能な場合に限り「学位論文」（修士論文または博士論文）を添付してください。（コピー可） ・ 6 年制課程の医学部・歯学部・獣医学部・薬学部を卒業した者で、医師免許・歯科医師免許・獣医師免許・薬剤師免許を有する者は、その写しを提出してください。	●	●	●	●

(4)修士学位論文の要旨	修士学位論文を要旨として 800 字程度、A4 一枚でまとめてください。 ・ パソコン等で作成してください。 ・ 必ず論文のタイトルと氏名を記載してください				●
(5)志願理由及び研究計画書（所定用紙２）	① 表紙（所定用紙２）について ・「本学大学院を志望した理由」を 200 字程度にまとめ、研究計画書の表紙としてクリップ等で綴じてください。 ・ 必ず希望する研究指導教員と相談し、指導の同意を得てください。 ※「2024 年度研究指導科目担当者及び研究指導領域」及び「研究指導教員一覧表」を参照 ② 研究計画書について ア）これまでの自己の研究（博士前期課程または修士課程の研究もしくは論文の概要）、イ）博士後期課程における研究の先行研究との関連性及びその特色や独自性、ウ）3 年間の研究計画（方法を含む）についてそれぞれ項目を分け、A4 判の用紙（横書き）にパソコン等により、和文 3,000 ～ 4,000 字程度または英文 1,000 ～ 2,000 語程度にまとめてください。	●	●	●	●
(6)博士前期課程または修士課程学業成績証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの。	●	●	●	●
(7)博士前期課程または修士修了(見込)証明書	出身大学長が作成したもの	●	●	●	●
(8)承諾書(所定用紙３)	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。	△	△	△	△
(9)在職証明書(所定用紙４) ※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したものでも可。	【社会人選抜】で出願する者 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。(複数の職歴で出願要件を満たす場合は、該当する職歴の証明書を全て提出してください。その際、所定用紙をコピーして現旧所属機関に依頼してください。		●		
(10)外国籍を有する者の出願書類(所定用紙５)	外国籍を有する者は、出願書類の他に、以下の書類を提出してください。 現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出。 ①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書（３か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの） ②在留カードの写し ③外国人入学願書（所定用紙５） ④パスポートの氏名・生年月日が記載されたページのコピー（海外在住者）	△	△	●	△
(11)研究指導教員推薦書(様式２)	博士前期課程時の研究指導教員に作成を依頼してください。 様式については、同様のものをパソコン等で作成したものでも可とする。				●

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外（中国を除く）の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

各種証明書の原本※	出身学校から発行されたもの。 出身学校から 1 部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。
日本語または英語翻訳文※	大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。

※日本語教育機関（日本語学校等）が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方へ

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで 5 週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

（1）卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

（2）成績証明書 「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

（3）学位取得証明書「学位認証書」(Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

博士前期課程を受験する方は、学士学位（Bachelor's Degree)、博士後期課程を受験する方は、修士学位（Master's Degrees）を取得していることが証明されていること。

※ 1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息網（ https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ）が取り扱っています。日本国内では CHSI 日本代理機構（ http://www.chsi.jp/ ）での発行申請が可能です。

※ 1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター（ daigakuin@nittai.ac.jp ）に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きをしてください。

７．出願手続

「**Web 出願の流れ**」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

（１）入学検定料の支払い

入学検定料：１受験につき３５，０００円

（注）本大学院体育学研究科博士前期課程修了見込みの者で、

内部進学選抜区分出願者の場合は、入学検定料５，０００円

※Web 出願サイト「STEP 5 （入学検定料の支払い)」に従って支払手続きをしてください。

（２）必要書類の郵送

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録」扱いで郵送してください。 なお、窓口出願は行っておりません。(「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）詳細については、「STEP 6 （必要書類の郵送)」を確認すること。

①志願票・写真票（所定用紙）

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

②選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。

・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

８．障がいのある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する方で、障がいのために受験上の配慮を必要とする方は、出願の前に、必ず事前相談をしてください。出願の際には下記の書類が必要となりますので、予めご了承願います。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

1．「入学試験に係る事前相談について」【必須】（所定用紙６）

2．医師の診断書【必須】（コピー可・書式自由）

3．身体障害者手帳（写）【必須】

4．その他相談する際に必要と考えられる参考資料

９．受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。(「STEP 7 （受験票の印刷)」を参照）

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

10. 選抜要領

入学者の選抜は、書類選考・口述試験により行います。但し、内部進学選抜は書類審査のみにより行います。

〔試験実施日〕

Ⅰ期試験：2023 年 11 月 18 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟
Ⅱ期試験：2024 年 2 月 17 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

選抜区分	受付時間	試験時間	試験科目	内容・留意事項等
一般選抜 社会人選抜 外国人選抜			書類選考	出願提出書類にて審査する a）履歴書 b）研究業績一覧 c）志望理由及び研究計画書 d）博士前期・修士課程学業成績証明書
	8:30～9:00	9:30～	口述試験	【発表・説明】 ・これまでの研究概要の発表 ・志望動機、及び入学後の研究計画等の説明 【質疑応答】 ・専門分野に関連する事項 ・研究計画等に関する内容 ※資料等の使用可。但し、試験担当者へ資料を配布する行為は不可とする。 ※試験は原則、日本語で行う。
内部進学選抜			書類審査	出願提出書類の内容にて審査する。 a）履歴書 b）研究業績一覧 c）志望理由及び研究計画書 d）博士前期課程学業成績証明書 e）修士学位論文要旨 f）研究指導教員推薦書

11. 受験上の注意

（1）試験当日の注意事項

① 持参するものについて
「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」（任意）
※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

③ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

④ 車での来校はできません。公共交通機関をご利用ください。
試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。

⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター（03-5706-0915）へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。
インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。

（２）試験時間中の注意事項

①「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。

② 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

③ 試験時間中は、試験担当者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

12. 合格発表

∘Ⅰ期試験（11 月実施）：2023 年 11 月 24 日（金）10 時

∘Ⅱ期試験（ 2 月実施）：2024 年 2 月 22 日（木）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので、下記照会方法をご確認ください。

（１）利用方法・注意点

① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。

② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。

④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間		
Ⅰ期試験	2023 年 11 月 24 日（金）～ 2023 年 11 月 26 日（日）	初日 10：00 ～
Ⅱ期試験	2024 年 2 月 22 日（木）～ 2024 年 2 月 24 日（土）	最終日 23：59 まで

（２）インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

https://www.gouhi.com/nittai/

合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ（https://www.nittai.ac.jp/）より、上記アドレスへアクセスできますのでご利用ください。

13. 入学手続

（１）入学手続時納入金の手続締切日

Ⅰ期試験：2023 年 12 月 8 日（金）

Ⅱ期試験：2024 年 3 月 8 日（金）

① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続を行ってください。

② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。

③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。

（２）入学辞退について

【窓口】 2024 年 3 月 29 日（金） 17：00 まで

【郵送】 2024 年 3 月 31 日（日） 消印有効（速達・簡易書留としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター
〒158-8508　東京都世田谷区深沢 7－1－1
TEL 03-5706-0915
事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00
冬季一斉休業期間：2023 年 12 月 28 日（木）～ 2024 年 1 月 5 日（金）

14. 学　　費

授業料は全額の 1/2 相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会準会員費の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）のみとなります。

2024 年度 日本体育大学大学院体育学研究科　博士後期課程学費等一覧　（円）

費　目		納入期		金　額		
				●他大学出身で他大学院を修了した場合	●本学大学院博士前期課程から継続して入学する場合（2023 年度修了者）	●2022 年度以前に本学大学院博士前期課程を修了した場合 ●本学卒業後、他大学院を修了して入学する場合
①学費	入学金	入学期のみ		300,000	0	150,000
	授業料	分納可	前学期	369,000	369,000	369,000
			後学期	369,000	369,000	369,000
	健康管理費	前学期		10,000	10,000	10,000
②その他費用	学友会費	前学期		13,000 （入会金 1,000 円を含む）	12,000	12,000
	同窓会準会員費	入学時のみ		10,000	0	0
総合計（①＋②）		年　額		1,071,000	760,000	910,000
		分納の場合	前学期	702,000	391,000	541,000
			後学期	369,000	369,000	369,000

《寄付金について》
本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」（教育貸し付け）について
「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和 54 年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫（日本公庫）が扱っています。
詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656（03-5321-8656）、または「国の教育ローン」で検索、https://www.jfc.go.jp/から「国の教育ローン」を選択してください。

2024 年度　研究指導科目担当者及び研究指導領域

（研究指導担当教員の表記内容）	
★★ 博士後期課程　研究指導教員	主査を担当することができる
★ 博士後期課程　研究指導補助教員	主査を担当できないが、研究指導できる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員、または研究指導補助教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願する事がないようにして下さい。

教員検索 （大学 HP 教員情報データベース）	研究者検索 （国立研究開発法人科学技術振興機構）

【博士後期課程】

■体育学専攻

― 体育科学学位プログラム ―　（コース毎・50 音順）

（体育スポーツ文化社会学コース）

★★ 教授　**石井　隆憲** 博士（社会学）	研究分野：社会科学、総合人文社会
	研究内容のキーワード:スポーツ人類学、民族スポーツ、伝統スポーツ、東南アジア、ミャンマー、チンロン、伝承、科学人類学
	スポーツ人類学 スポーツ人類学は地球上のさまざまな社会において実践されているスポーツ的活動を参与観察などの緻密なフィールドワークによって研究していく学問です。研究領域は多岐にわたりますが、具体的にいくつかの研究領域を以下に紹介しておきます。 ① スポーツ活動を実践する人々の研究 ・身体技法研究 ・ライフヒストリー研究 ・エスノサイエンス研究　など ② スポーツ活動を支える人々や組織の研究 ・スポーツ組織や社会組織の研究 ・ネットワーク研究 ・スポーツ用具に関する研究　など ③ スポーツの観光化の研究 ④ スポーツの開発・援助の研究 ⑤ 植民地主義とスポーツ文化の研究 ⑥ スポーツ科学の人類学　など
★ 教授　**荻　　浩三** 修士（体育学）	研究分野：スポーツ史
	研究内容のキーワード：スポーツ史、体育史、スポーツ地理学
	「スポーツ史」 ① 一般研究領域（一般史） 「スポーツ通史」「世界スポーツ史」「時代別スポーツ史」「地域別スポーツ史」、など ② 個別研究領域（特殊史） 「スポーツ競技種目史」「スポーツ思想・人物史」「スポーツ教育史」「スポーツ産業史」「スポーツ形態史」「スポーツ学説史」「スポーツ施設・用具史」「スポーツ技術史」、など

★ 准教授　**佐野　昌行** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ社会科学
	研究内容のキーワード:スポーツ経営学、スポーツマネジメント、スポーツビジネス、スポーツマーケティング
	次のようなテーマについて研究しています。 ・スポーツ経営学の概念や学説史　・スポーツイベントマネジメント　・スポーツ観戦の魅力や価値　・スポーツ観戦者のマーケティング　・大学スポーツのマネジメント　・スポーツ団体（競技団体）のマネジメント　・スポーツ施設マネジメント
★★ 教授　**関根　正美** 博士（体育科学）	研究分野：体育・スポーツ哲学
	研究内容のキーワード：スポーツ哲学
	スポーツ哲学 スポーツ哲学は「スポーツとは何か」「スポーツを行う人間とは何か」「スポーツが流行している社会とは何か」を考察する学問です。スポーツ諸科学の基盤となる真理の探究と同時に、オリンピック、ドーピング、科学・技術の問題、スポーツに関わる人間の心の問題などといった現実の具体的問題にもアプローチしていきます。具体的には以下の研究領域が考えられます。また、体育（教育）の哲学的問題についても可能です。 ・オリンピック、オリンピズムの思想　・スポーツの実存哲学 ・スポーツ人間学（達成の人間学）　・スポーツ倫理学（ドーピング、フェアネスなどの問題） ・スポーツ緒論（身体論、遊戯論、時間論、科学論）　・スポーツ美学論、舞踊論 ・日本のスポーツ哲学（禅、芸道など）　・諸外国（主に英米、ドイツ語圏）のスポーツ哲学
★★ 教授　**依田　充代** 博士（スポーツ健康科学）	研究分野：体育・スポーツ社会学
	研究内容のキーワード：体育・スポーツ社会学
	スポーツ社会学 スポーツ社会学はスポーツと社会の関わりを追及する学問です。また、スポーツの社会学的現象を明らかにし、そこに起きる問題の解決をめざした研究を展開する学問でもあります。研究領域は多岐にわたりますが、具体的にいくつかの研究領域を以下に紹介しておきます。 ① スポーツ社会学の内容と方法　② スポーツと薬物　③ スポーツと暴力　④ 社会規範とスポーツ　⑤ スポーツと政治　⑥ スポーツと経済　⑦ スポーツと環境　⑧ スポーツとマスメディア　⑨ 学社融合　⑩ スポーツ・ボランティア　⑪ スポーツ情報学　⑫ 地域スポーツ　など

（トレーニング科学コース）

★ 教授　**大石　健二** 博士（体育科学）	研究分野：疫学（運動疫学）、スポーツパフォーマンス分析
	研究内容のキーワード:疫学（運動疫学）、子ども、幼児、家庭環境、社会環境、生活習慣、運動習慣、体力、運動能力、健康、身体活動量、身体活動強度、スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析、Sports Analytics、戦術、戦略、統計学、確率論、評価項目（測定項目）の検討と開発、分析方法の検討と開発
	主な研究テーマは、「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」と「子ども（主に幼児）を対象とした疫学研究」の2つになります。両研究領域共に数値データを用い、統計学や確率論を基礎とした研究となります。 ①「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」 生体ウエラブルディバイスや小型ビデオカメラの普及により、選手個人の移動（距離・速度）データや心拍数データに加え、パスやシュート等のスポーツパフォーマンスを簡便に数値化することが可能となりました。そのため、GPSデータや画像データを用いスポーツを数値化し、勝敗と関連がある項目の検討や今後の試合予測が研究テーマとなります。これらの研究結果から、対象チームのトレーニング内容（課題）を考えます。現在、研究対象とするスポーツ種目の制限を設けてはいませんが、サッカー、ハンドボール、バレーボールなど球技種目を主としています。 ②「子ども（主に幼児）を対象とした疫学研究」 子どもの体力・運動能力または健康状態と生活習慣や生活環境との関連性について研究します。具体的には、幼児の25m走、立ち幅とび、テニスボール投げ等の記録や運動の好き・嫌い、風邪や怪我の頻度をアウトカムとし、家庭環境（家族構成・住宅様式等）、生活習慣（起床時刻・習い事等）、施設内環境（保育所や幼稚園・学校間等）、地域間（都市部・農村部等）との関連性について疫学手法を用い検討する研究となります。また、子ども達の日常における身体活動強度や身体活動量を定量化することも研究テーマとしています。現在は、継続測定を実施し体力・運動能力の変化量（率）をアウトカムにした研究を実施しています。これらの研究結果から二極化が懸念されている子ども達の体力・運動能力向上の方策を考えます。

★ 准教授　**大塚　光雄** 博士（スポーツ科学）	研究分野：スポーツバイオメカニクス 研究内容のキーワード：運動学、動力学、競技力向上、運動技能、トレーニング 科学的なアプローチによって、アスリートにおける競技力向上や運動初心者における運動技能の改善をねらっています。現在、主に以下の2つのテーマに取り組んでいます。 ① 高度なデバイス（光学式ハイスピードカメラ、地面反力計、慣性センサーなど）を用いた横断的・縦断的なスポーツ動作の測定・評価 ② 大衆化されたデバイス（スマートフォン、スマートウォッチなど）を用いた運動技能の測定・評価方法の開発 フィールドから実験室まで様々な場所で測定を行い、国際大会で優勝する選手から運動嫌いな子どもまで幅広い運動パフォーマンスの分析を行っています。世界中の研究機関とのネットワークを活用しながら、前例にとらわれずに、スポーツ科学、社会に貢献することを目指しています。
★★ 教授　**岡本　孝信** 博士（人間科学）	研究分野：運動生理学、スポーツ生理学 研究内容のキーワード：スポーツパフォーマンス、コンディショニング、トレーニング、競技力向上、リカバリー 運動・スポーツ生理学を基盤として、効果的な運動トレーニング法の開発やアスリートの競技力向上とコンディショニングに資する実践的な研究を行います。スポーツ現場に即した研究を進めて行く中で、トレーニングやコンディショニングに関する新しい理論体系の確立を目指します。 主な研究テーマは以下の通りです。 ① 心血管系機能を指標としたコンディショニング法の開発 ② 運動・栄養・休養のタイミングがスポーツパフォーマンスに及ぼす影響 ③ トレーニング効果を高めるポリフェノール摂取法の検討 ④ パフォーマンス向上を目指した機能性食品（クレアチン、グリコーゲンなど）の効果的なローディング法の開発 ⑤ 戦略的リカバリー法の構築 国際的な視野に立って研究を進めたい（国際学会での発表、国際学術雑誌への論文の公表など）と考えている方を歓迎します。
★★ 准教授　**菊池　直樹** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、スポーツ遺伝学 研究内容のキーワード：ストレングス＆コンディショニング、遺伝子多型、筋力、パワー、競技パフォーマンス、トレーニング アスリートの遺伝的特性に関わる研究およびストレングス＆コンディショニングに関わる研究を行う。トレーニングによる身体反応や損傷に対するリスクの個人差を解明することで、個人対応型のトレーニングおよびコンディショニング方法の確立を目指す。さらに、遺伝特性がアスリートのパフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について、コンソーシアムを結成し国際共同研究を進める。 主な研究テーマについて以下に示す。 ① 競技パフォーマンスやトレーニング効果に関わる遺伝特性の探索 ② ストレングストレーニングの効果を最大化するトレーニング変数に関する研究（強度、トレーニング量、休息時間、頻度、スピード変化） ③ トレーニングの効果や質をモニタリングするプロダクトの開発および提案
★★ 教授　**杉田　正明** 博士（学術）	研究分野：トレーニング科学、体力科学 研究内容のキーワード：競技力向上、トレーニング科学、体力科学、コンディショニング 運動パフォーマンスを高めるトレーニングやコンディショニングに役立つ以下のテーマにおける実践的なスポーツ科学的研究を行っている。 ① 競技スポーツ選手のパフォーマンスと体力要因との関係に関する研究 ② 高地トレーニング、低酸素トレーニングに関する研究 ③ 運動パフォーマンスにおける暑熱、寒冷対策に関する研究 ④ 競技スポーツ選手を対象としたコンディショニングに関する研究 ⑤ 競技選手のパフォーマンス分析に関する研究

★★ 教授　**須永　美歌子** 博士（医学）	研究分野：運動生理学、トレーニング科学
	研究内容のキーワード：月経周期、女性アスリート、コンディショニング、性差、エネルギー代謝（糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝）
	健康なからだを維持しながらパフォーマンスを向上させるためには、戦略的にトレーニングプログラムを構築し、コンディショニング方策を立てる必要があります。本研究室では、ヒトを対象にトレーニングや栄養摂取などの条件の違いが運動パフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について運動生理学的手法を用いて分析し、スポーツ現場に還元することを目指して研究に取り組んでいます。 特に性差や月経周期の影響に着目し、以下のような研究を行っています。 ① 月経周期を考慮したコンディショニング法の開発 ② 女性の形態的・生理的特性を考慮したトレーニングプログラムの検討 ③「女性アスリートの三主徴」の予防・改善に関する研究
★ 准教授　**髙井　秀明** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ心理学
	研究内容のキーワード：競技スポーツ、アスリート、ストレス、情報処理過程、心臓自律神経活動
	スポーツ心理学に関する基礎的研究を進めており、ヒトの身体活動に伴う情報処理過程や心臓自律神経活動を中心に検討しています。特に、競技スポーツにおけるストレス状況下でのアスリートの心理・生理的反応について明らかにすることを研究課題としています。
★★ 教授　**西山　哲成** 博士（医学）	研究分野：トレーニング科学、バイオメカニクス
	研究内容のキーワード：パフォーマンス向上、バイオメカニクス、生理学、技術・体力評価、科学サポート、自転車競技
	① スポーツパフォーマンスを高めるための技術、体力評価、およびそのトレーニング方法、指導方法に関する研究を扱う。 ② バイオメカニクス、および生理学的手法による科学サポート、指導に役立つ基礎的・実践的研究を対象とする。 ③ 指導者、選手への研究データのフィードバック（議論）から次テーマの着想を得る。 ④ 集団、または個人のパフォーマンス向上をスポーツ医科学の観点から総合的にコーディネートする感性を育む。
★★ 教授　**黄　　仁官** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、体力学、運動処方
	研究内容のキーワード：トレーニング科学、競技力向上サポート、運動処方と運動療法、加齢・老化、スポーツ遺伝子
	本研究室は、人間の身体能力（体力）、特にトレーナビリティを柱に、多方面からの基礎データの構築による新たな指標の提案及び運動・トレーニング処方の開発に係わる基盤研究を目指しています。 研究領域から理想としている主な内容は、アスリートの競技パフォーマンス向上・維持、それに係わるリスクファクターの原因究明及び改善に繋がる具体的トレーニング手法の提案・理論をスポーツ科学的実践研究として確立させることを研究の狙いとしています（関連して、子供の成長期における発達及び高齢者の健康寿命の為の運動を含む）。

（健康スポーツ医科学コース）

★★ 教授　**岡田　　隆** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、アスレティックリハビリテーション、スポーツ整形外科学
	研究内容のキーワード：筋力トレーニング、筋肥大、減量、スポーツ外傷・障害、動的関節制御、腰痛、椎間板変性、体幹筋、ボディビル、柔道、コリジョンスポーツ
	トレーニング科学領域 ① 限局的な対象筋に効果的なトレーニングフォームの開発 ② 対象筋の筋活動を増強する内部意識集中を利用したトレーニング方法の開発 ③ 体幹深部筋のトレーニング方法の開発 ④ 効果的な体脂肪の除去方法（除脂肪）の開発　など アスレティックリハビリテーション、スポーツ整形外科学領域 ① 腰痛 ② 頸部痛 ③ 椎間板変性（腰部、頸部） ④ 主動筋と拮抗筋による関節の動的制御　など
★★ 教授　**岡本　孝信** 博士（人間科学）	研究分野：運動生理学、健康生理学、健康運動学、健康増進学
	研究内容のキーワード：総合型生活習慣病予防、サクセスフルエイジング、健康寿命、動脈硬化、血管内皮機能、認知症、サルコペニア、ヘルスプロモーション
	若年者から高齢者に至る全ての年代が生涯健康であることを目的に、心血管疾患、介護および認知症を総合的に予防する“総合型生活習慣病予防”を目指した研究を推進します。 主な研究テーマは以下の通りです。 ① 総合型生活習慣病予防を目指したレジスタンス運動および有酸素運動法の開発 ② 健康増進効果を高めるポリフェノール摂取法の検討 ③ 骨格筋電気刺激トレーニングの健康増進効果の解明 ④ 筋、呼吸循環および認知機能の改善に向けた健康増進プログラムの開発 ⑤ 体力、呼吸循環および認知機能の加齢変化の関連探索 国際的な視野に立って研究を進めたい（国際学会での発表、国際学術雑誌への論文の公表など）と考えている方を歓迎します。
★ 准教授　**城所　哲宏** 博士（教育学）	研究分野：発育発達学、運動疫学、公衆衛生学
	研究内容のキーワード：子ども、身体活動、座位活動、体力、生活習慣病、国際共同研究
	子どもを対象に、身体活動を通じた体力向上および生活習慣病予防に関する研究をしています。国内および海外における大規模コホート研究のデータを活用し、疫学的な手法を用いて研究を進めています。主な研究テーマは以下の通りです。 ① 子どもにおける早期生活習慣病予防に関する研究 ② 子どもの身体活動・体力に関する国際共同研究 ③ 身体活動を促進させる環境づくりに関する研究
★★ 教授　**木村　直人** 博士（体育科学） 博士（医学）	研究分野：健康科学、衛生学公衆衛生学
	研究内容のキーワード：エネルギー代謝，健康管理，ストックウオーキング
	人における健康の保持・増進や体力の向上に関連する運動・栄養・休養の効果、特に運動に関わる健康管理（健康科学）が指導領域となります。 ① 環境因子と健康について ② 骨格筋エネルギー代謝の評価及び運動との関連について ③ 筋酸素動態と performance との関連について ④ 生体負担（筋疲労）と健康との関連について
★ 教授　**小林　正利** 修士（体育学） 博士（医学）	研究分野：顕微解剖学、健康教育学
	研究内容のキーワード：骨格筋の組織化学、健康教育学、運動と糖、乳酸代謝
	健康維持・増進に関わる因子や環境について探索し検討しています。 ① 骨格筋の再生過程に関わる細胞の組織化学的検討 ② 運動と健康関連機能の検討

★★ 教授　**須永　美歌子** 博士（医学）	研究分野：運動生理学、トレーニング科学
	研究内容のキーワード：月経周期、女性アスリート、コンディショニング、性差、エネルギー代謝（糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝）
	健康なからだを維持しながらパフォーマンスを向上させるためには、戦略的にトレーニングプログラムを構築し、コンディショニング方策を立てる必要があります。本研究室では、ヒトを対象にトレーニングや栄養摂取などの条件の違いが運動パフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について運動生理学的手法を用いて分析し、スポーツ現場に還元することを目指して研究に取り組んでいます。 特に性差や月経周期の影響に着目し、以下のような研究を行っています。 ① 月経周期を考慮したコンディショニング法の開発 ② 女性の形態的・生理的特性を考慮したトレーニングプログラムの検討 ③「女性アスリートの三主徴」の予防・改善に関する研究
★★ 教授　**田中　信行** 博士（学術）	研究分野：社会疫学、測定評価、福祉リハビリテーション
	研究内容のキーワード：アダプテッド・フィジカル・アクティビティー（アダプテッド・スポーツ）、インクルーシブ体育、福祉リハビリテーション
	健康に関わる因子のうち、特に社会要因的視点から健康を追求する。具体的な対象は、次のものがあげられる。 ① クラブ等団体（集団）所属者における帰属意識とスポーツ障害 ② スポーツが果たす社会要因的健康に対する可能性 ③ 地域別平均余命に対する社会要因の影響 ④ 健康に対するいわゆる負因子（ストレス等）閾値
★ 准教授　**田村　優樹** 博士（学術）	研究分野：分子運動生理学、分子運動代謝学
	研究内容のキーワード：骨格筋、脂肪、メカノバイオロジー、ミトコンドリア、リソソーム、温熱刺激、サルコペニア、廃用性筋萎縮、トレーニング、リハビリテーション
	効果的なトレーニングやリハビリテーションの創出を見据え、分子生物学の手法を用いた基礎研究を実施しています。また、先端的な遺伝子工学や情報科学の技術を駆使して、骨格筋のエネルギー代謝を詳細に理解することを目指しています。研究を現在実施している研究課題は次の通りです。 1．運動や不活動、老化、疾患などに伴う「細胞／器官／個体の適応」と「分子メカニズム」の解明 2．物理療法の「生物医学的根拠の構築」と「新規適応症の探索」 3．新規栄養素材の「探索・有効性検証」と「トレーニング／リハビリテーションへの応用」
★★ 教授　**津山　　薫** 博士（体育科学）	研究分野：発育発達
	研究内容のキーワード：子ども、中高齢者、アスリート、運動能力、トレーニング
	① 身体運動や生活習慣が体力に及ぼす影響　② 子どもの体力と運動との関係　③ 中高齢者の体力と運動との関係、などがおもな研究指導領域です。
★★ 教授　**中里　浩一** 博士（学術）	研究分野：スポーツ生理・生化学、基礎スポーツ医学
	研究内容のキーワード：加齢、筋損傷、筋肥大、筋萎縮、動物・細胞モデル、遺伝子多型、筋タンパク質合成、筋タンパク質分解、細胞外マトリックス
	力学的刺激を含む幅広い外的因子への筋骨格系組織（骨格筋、腱、靭帯など）の生理・生化学的応答あるいは適応を分子・細胞・組織レベルで検討していくことを主なテーマとします。スポーツ生理、トレーニング方法、スポーツ損傷、スポーツ医学など応用的な展開を常に意識して研究を進めていきます。特に分子レベルでの検討を中心とすることおよび自分自身で手を動かしてデータを出してもらうことを求めますので、本研究室を希望する学生は相当の時間と労力を使う覚悟が必要です。その代わり得られるものも十分にあると思います。具体的なテーマは以下のとおりです。 ① 実験モデル（動物・細胞）を用いた筋損傷発生および修復過程の分子メカニズムの解析 ② 実験モデル（動物・細胞）を用いた随意あるいは不随意での筋力トレーニングに対する骨格筋適応の分子メカニズムの解析 ③ 加齢あるいは全身炎症に伴う骨格筋萎縮のメカニズム解明とその克服 ④ ヒト遺伝子構造の多型性が筋骨格系組織に与える影響の基礎的検討

★★ 教授　**平沼　憲治** 博士（医学）	研究分野：医歯薬学
	研究内容のキーワード：スポーツ損傷、予防医学、リハビリテーション
	スポーツが、人間の身体に与える影響をスポーツ医学（スポーツ整形外科学）の基礎と臨床の両面から研究する。各院生の専門性に応じて、スポーツ外傷・障害の予防・診断法・治療法について取り組んでいく。最新のエコー・MRI・X 線検査を利用し、スポーツ外傷・障害の危険因子を発見し予防に繋げること、新しい診断法、より良い治療法を発見・開発する。 ① スポーツ外傷・障害の予防に関する研究（遺伝子、身体特性、競技特性との関連） ② スポーツ外傷・障害の新しい診断法・評価法の発見・開発 ③ スポーツ外傷・障害のより良い治療法の開発（理学療法、リハビリテーション） 「スポーツ現場、医療機関では解決のつかない問題を大学院生とともに答えを出していきたいと思う。」

（身体教育・健康教育コース）

★★ 教授　**岡出　美則** 博士（教育学）	研究分野：体育科教育学、スポーツ教育学
	研究内容のキーワード：カリキュラム論、学習指導論、教師教育論
	体育授業の研究対象である ① カリキュラム論、② 学習指導論並びに ③ 教師教育論に関連した研究を進めていきます。カリキュラム論では、カリキュラムの国際比較やカリキュラム評価が、学習指導論では学習指導論の効果検証が、教師教育論では体育教師の成長を促す方略の効果検証がテーマの例になります。
★ 教授　**岡本　美和子** 博士（看護学）	研究分野：リプロダクティブヘルス、母子保健
	研究内容のキーワード：子育て支援，女性の健康，子どもの保健，児童虐待，リプロダクティブヘルス
	主に女性と子どもの健康問題と健康支援が研究の中心となる。 ① ライフサイクルから見た女性の健康課題と健康支援 ② 胎児期・乳幼児期・学童期の子どもの健康と環境 ③ 思春期の健康教育 ④ 女性アスリートに対する子育て支援
★★ 教授　**近藤　智靖** 博士（体育科学）	研究分野：体育科教育学、スポーツ教育学
	研究内容のキーワード：カリキュラム、体育授業研究、教材・教師
	① 体育科のカリキュラム論 ・体育の教育課程における目標に関する研究 ② 体育科の学習指導論 ・体育の教材に関する研究 ・教師行動に関する研究 ③ 体育授業研究 ・体育における学習効果に関する研究 ・児童生徒行動に関する研究
★ 教授　**鹿野　晶子** 修士（教育学） 博士（体育科学）	研究分野：学校保健学、発育発達学
	研究内容のキーワード：子どものからだと心、養護教諭
	子どものからだと心、それを支える養護教諭をテーマとし、日常的には、子どものからだと心に関する学校教育現場等での野外調査に従事しながら研究をすすめている。 主な研究領域は ① 養護教諭の職務と養護活動、保健室の機能 ② 学校保健 ③ 子どものからだと心の健康課題全般とする。

★★ 教授　**鈴川　一宏** 博士（医学） 博士（体育科学）	研究分野：ヘルスプロモーション、公衆衛生学
	研究内容のキーワード：子ども、生活習慣、運動習慣、行動体力、防衛体力、免疫、疲労、メンタルヘルス、ヘルスプロモーション、健康教育、学校保健
	保健体育教諭や養護教諭が取り組むべき、子どもにおける体育やスポーツの必要性、学校現場における保健活動、ヘルスプロモーションに関する研究等を研究指導領域とする。特に、子どもを対象とした生活習慣や運動習慣が身体に及ぼす影響について、免疫能など防衛体力を中心とした測定や調査を行うことによって明らかにし、健康のための運動の必要性について研究していく。また、本大学の特性から、スポーツ選手のコンディショニングをテーマとした研究についても取り組んでいく。 ① 健康のために行う運動の効果について検討（生活習慣病の予防、健康増進など） ② 子どもにおける体育・スポーツの必要性ついて検討（生活習慣、運動習慣、防衛体力、免疫能、健康感、メンタルヘルスなどから検討） ③ 子どもの健康管理・健康教育・健康対策に関する研究 ④ 学校保健とヘルスプロモーションに関する研究 ⑤ 学校における保健活動および環境に関する研究 スポーツ選手の健康管理について防衛体力から検討(身体的疲労、精神的疲労、免疫能などから検討)
★★ 教授　**田中　信行** 博士（学術）	研究分野：アダプテッド・スポーツ
	研究内容のキーワード：アダプテッド・フィジカル・アクティビティー（アダプテッド・スポーツ）、インクルーシブ体育、福祉リハビリテーション
	① アダプテッドスポーツ（障がい者、高齢者等の身体活動） ② インクルーシブ体育 ③ 福祉リハビリテーション を対象とするが、ひとつの事象に対して複合的な観点で検討する。
★★ 教授　**野井　真吾** 博士（体育科学）	研究分野：教育生理学，学校保健学，発育発達学，体育学
	研究内容のキーワード：教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学、子どものからだ、子どもの体力、子どもの健康
	キーワードは、「子ども」「からだ」「心」「体力」「健康」「元気」「生活」。 研究領域は、教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学。具体的には、子どものからだ、心、体力、健康、元気、生活が「どこかおかしい」、「ちょっと気になる」、「なんか心配」といった保育・教育現場の教諭や養護教諭、さらには、子育て中のお母さん、お父さんの“実感”をたよりに、子どものからだにこだわってその“事実”を明らかにし、“実体”を追究する活動（問題を発見するための研究）と、発見された健康課題を改善し、子どもの元気を具現化するための活動（問題を解決するための研究）とに努めている。

― コーチング科学学位プログラム ―　（50 音順）

★★ 教授　**伊藤　雅充** 博士（学術）	研究分野：コーチング学、コーチ教育
	研究内容のキーワード：アスリートセンタードコーチング、コーチ教育、コーチデベロッパー
	我々の研究室では、アスリート・センタード・コーチングをキーワードとして学習者中心の指導のあり方を研究している。研究テーマはコーチングのWHAT（アスリートを対象にした研究）ではなく、コーチングのHOW（コーチを対象にした研究）である。研究手法として質的研究および量的研究、あるいはその両方を組み合わせた混合研究法を採用する。博士後期課程においては将来のコーチデベロッパー、あるいはコーチ教育者として自身のスキルを磨くことも行う。
★★ 教授　**内山　治樹** 教育学修士 博士（体育科学）	研究分野：コーチング科学、体育・スポーツ哲学
	研究内容のキーワード:コーチング、コーチ、競技スポーツ、競技力、競技特性、競技者、チーム、技術、戦術、バスケットボール
	これまでは、競技スポーツの中でも最も複雑な競技特性を有するバスケットボールを対象に、チームスポーツに固有の技術、戦術、体力、トレーニング法など、競技として成立する上での本質的構成要素について研究を行ってきました。現在は、哲学や現代思想における種々の知見を汎用性を備えた思考のツールとして用いることで、コーチングのメカニズムやコーチの存在理由なども含む、バスケットボールの競技力の形成と向上にかかわる諸要因・諸要素およびそれらの相互規定性を制御する深層の仕組みの解明に取り組んでいます。 過去5年間の主な研究テーマは、以下のとおりです。 ① コーチング科学の学問性について ② スポーツ・コーチングの理念性にかかわる概念とメカニズムの探究 ③ チームスポーツにおける協働行為の指針の探求 ④ チーム・パフォーマンスの生成にかかわる前提要件の検討 ⑤ バスケットボールにおける「ゲームの流れ」と勝敗の因果関係について

★ 教授　**大石　健二** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析
	研究内容のキーワード：スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析、Sports Analytics、戦術、戦略、統計学、確率論、評価項目（測定項目）の検討と開発、分析方法の検討と開発
	主な研究テーマは、「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」になります。スポーツを数値化し、統計学や確率論からチームとしての戦術や課題を検討します。 近年、生体ウエラブルディバイスや小型ビデオカメラの普及により、選手個人の移動（距離・速度）データや心拍数データに加え、パスやシュート等のスポーツパフォーマンスを簡便に数値化することが可能となりました。そのため、GPSデータや画像データを用いスポーツを数値化し、勝敗と関連がある項目の検討や今後の試合予測が研究テーマとなります。これらの研究結果から、コーチングに有用な対象チームの戦術や課題を考えます。現在、研究対象とするスポーツ種目の制限を設けてはいませんが、サッカー、ハンドボール、バレーボールなど球技種目を主としています。
★ 准教授　**佐良土　茂樹** 博士（哲学）	研究分野：コーチング学
	研究内容のキーワード：コーチング学原論、コーチング哲学、コーチ育成
	コーチングはそもそもどのような営みであるのかを考える原論の研究、コーチが持っている哲学についての研究、および、コーチの学びを中心とするコーチ育成やその学びを支援するコーチデベロッパーについての研究を行っています。
★★ 教授　**杉田　正明** 博士（学術）	研究分野：コーチング学、トレーニング科学
	研究内容のキーワード：スポーツ科学を活用したコーチング、トレーニング科学、体力科学、コンディショニング、パフォーマンス分析
	より効果的なコーチングの実践に活かすため、競技スポーツ選手の運動パフォーマンスを高める体力要因やコンディショニングのプログラムを開発するとともに、様々なトレーニング法やその効果について、主としてスポーツ生理学的な手法を用いた研究や様々な競技のパフォーマンス分析を行っている。それらを通して、コーチングに資するスポーツ科学の実践研究を行う。
★ 准教授　**髙井　秀明** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ心理学
	研究内容のキーワード：スポーツメンタルトレーニング、スポーツカウンセリング、リラクセーション
	アスリートの競技力向上や実力発揮を目指した、スポーツメンタルトレーニングとスポーツカウンセリングに関する実践的研究に取り組んでいます。特に、ストレスの対処方略として活用されている自律訓練法や漸進的弛緩法、バイオフィードバック法などのリラクセーション技法の効果について検討しています。
★★ 教授　**西山　哲成** 博士（医学）	研究分野：トレーニング科学、バイオメカニクス
	研究内容のキーワード：パフォーマンス向上、バイオメカニクス、生理学、技術・体力評価、科学サポート、自転車競技
	① スポーツパフォーマンスを高めるための技術、体力評価、およびそのトレーニング方法、指導方法に関する研究を扱う。 ② バイオメカニクス、および生理学的手法による科学サポート、指導に役立つ基礎的・実践的研究を対象とする。 ③ 指導者、選手への研究データのフィードバック（議論）から次テーマの着想を得る。 ④ 集団、または個人のパフォーマンス向上をスポーツ医科学の観点から総合的にコーディネートする感性を育む。
★ 教授　**南部　さおり** 博士（医学）	研究分野：医学、法学、心理学、社会学、社会科学複合分野
	研究内容のキーワード：児童虐待、体罰、部活動の安全指導、学校事故、少年非行
	スポーツ危機管理学 スポーツにおける安全指導、スポーツ事故の原因分析と再発防止、体罰・パワハラ・暴言指導に関する研究、学校部活動のあり方に関する研究、学校体育における苦手克服・楽しい体育・安全指導、スポーツ指導者の資質向上、スポーツ活動が少年非行と犯罪に及ぼす影響など 学校安全に関する研究 いじめ、ブラック部活動、教員の不適切指導、教育現場でのハラスメント、対教師暴力、不登校問題など 児童虐待、親子関係が子の社会化に及ぼす影響に関する研究

【博士後期課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）

教員資格欄：指導－研究指導教員、（補助）－研究指導補助教員　　市街局番　・東京（03）・横浜（045）

	教員資格	氏　名	フリガナ	所属学位プログラム	東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス	メールアドレス
あ	指導	石井　隆憲	ｲｼｲ ﾀｶﾉﾘ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0941	479-8324	t-ishii@nittai.ac.jp
	指導	伊藤　雅充	ｲﾄｳ ﾏｻﾐﾂ	コーチング科学学位プログラム	5706-0995		itom@nittai.ac.jp
	指導	内山　治樹	ｳﾁﾔﾏ ﾊﾙｷ	コーチング科学学位プログラム	5706-0826		uchiyama.h@nittai.ac.jp
	（補助）	大石　健二	ｵｵｲｼ ｹﾝｼﾞ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム	5706-1096		oishi@nittai.ac.jp
	（補助）	大塚　光雄	ｵｵﾂｶ ﾐﾂｵ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		479-7115	otsuka.m@nittai.ac.jp
	指導	岡田　　隆	ｵｶﾀﾞ ﾀｶｼ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1024		t-okada@nittai.ac.jp
	指導	岡出　美則	ｵｶﾃﾞ ﾖｼﾉﾘ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0946		okade@nittai.ac.jp
	指導	岡本　孝信	ｵｶﾓﾄ ﾀｶﾉﾌﾞ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） 体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0966		tokamoto@nittai.ac.jp
	（補助）	岡本美和子	ｵｶﾓﾄ ﾐﾜｺ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0978		okamotom@nittai.ac.jp
	（補助）	荻　　浩三	ｵｷﾞ ｺｳｿﾞｳ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-1213		k-ogi@nittai.ac.jp
か	指導	菊池　直樹	ｷｸﾁ ﾅｵｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		963-7944	n.kikuchi@nittai.ac.jp
	（補助）	城所　哲宏	ｷﾄﾞｺﾛ ﾃﾂﾋﾛ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1426		kidokoro@nittai.ac.jp
	指導	木村　直人	ｷﾑﾗ ﾅｵﾄ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0970	507-7862	kimura@nittai.ac.jp
	（補助）	小林　正利	ｺﾊﾞﾔｼ ﾏｻﾄｼ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1251		m-kobayashi@nittai.ac.jp
	指導	近藤　智靖	ｺﾝﾄﾞｳ ﾄﾓﾔｽ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1337		kondohtomoyasu@nittai.ac.jp
さ	（補助）	佐野　昌行	ｻﾉ ﾏｻﾕｷ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）		479-7596	msano@nittai.ac.jp
	（補助）	佐良土茂樹	ｻﾛｳﾄﾞ ｼｹﾞｷ	コーチング科学学位プログラム	5706-0943		sarodo@nittai.ac.jp
	（補助）	鹿野　晶子	ｼｶﾉ ｱｷｺ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0950		shikano.a@nittai.ac.jp
	指導	杉田　正明	ｽｷﾞﾀ ﾏｻｱｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム	5706-1148		m-sugita@nittai.ac.jp
	指導	鈴川　一宏	ｽｽﾞｶﾜ ｶｽﾞﾋﾛ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0972		suzukawa@nittai.ac.jp
	指導	須永美歌子	ｽﾅｶﾞ ﾐｶｺ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） 体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1360		sunaga@nittai.ac.jp
	指導	関根　正美	ｾｷﾈ ﾏｻﾐ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0935		msekine@nittai.ac.jp
た	（補助）	髙井　秀明	ﾀｶｲ ﾋﾃﾞｱｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム	5706-0863		takai@nittai.ac.jp
	指導	田中　信行	ﾀﾅｶ ﾉﾌﾞﾕｷ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース） 体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1271		n2tanaka@nittai.ac.jp
	（補助）	田村　優樹	ﾀﾑﾗ ﾕｳｷ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0933		y-tamura@nittai.ac.jp
	指導	津山　　薫	ﾂﾔﾏ ｶｵﾙ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）		963-7939	tsuyamak@nittai.ac.jp
な	指導	中里　浩一	ﾅｶｻﾞﾄ ｺｳｲﾁ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0821	507-1644	nakazato@nittai.ac.jp
	（補助）	南部さおり	ﾅﾝﾌﾞ ｻｵﾘ	コーチング科学学位プログラム	5706-0945		nambu3@nittai.ac.jp
	指導	西山　哲成	ﾆｼﾔﾏ ﾃﾂﾅﾘ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム		963-7994	nishiyama@nittai.ac.jp

	教員資格	氏　名	フリガナ	所属学位プログラム	東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス	メールアドレス
な	指導	野井　真吾	ﾉｲ ｼﾝｺﾞ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1543		nois@nittai.ac.jp
は	指導	黄　　仁官	ﾌｧﾝ ｲﾝｶﾝ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		963-7943	hwang@nittai.ac.jp
や	指導	依田　充代	ﾖﾀﾞ ﾐﾂﾖ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0944	479-8186	3.yoda@nittai.ac.jp